

認定番号 H27-08

創エネ・再生可能エネ

省エネ

省資源・再資源

リユース

リサイクル

長寿命

その他

使用済み食用油をリサイクルした

バイオディーゼル燃料「C-FUEL」(シーフューエル)



株式会社 レボインターナショナル

家庭や飲食店で使用した天ぷら油など、“使用済み食用油”をリサイクルしたバイオディーゼル燃料。軽油（バス、トラック等のディーゼル車両の燃料）の代替燃料として、1997年のCOP3での「京都議定書」の採択を機に、京都市の市バス（約100台）・ごみ収集車（約230台）での利用が開始され、現在では南丹市の農業用車両をはじめ自治体及び企業のバス、トラック、建設重機、船舶等の燃料として幅広く利用されています。



リサイクル率97.5%

1ℓの天ぷら油から1ℓの燃料へ

使用済み食用油は、少量の副原料との化学反応（エステル交換反応）で「C-FUEL」に生まれ変わります。当社の燃料化工場（宇治田原町）では、独自技術によりリサイクル率を97.5%まで高めるとともに、副生するグリセリンもボイラー燃料として工場内で利用します。ほとんど捨てるものがない非常に効率的なリサイクルです。天ぷら油は、捨てずにリサイクルにご協力ください。

京都府民の天ぷら油をリサイクル

すれば年間20,000トンのCO₂削減

当社の燃料化工場は、年間900万ℓの使用済み食用油をリサイクルできる能力があります。これは、京都府の人口（約260万人）に相当する家庭での天ぷら油消費量とほぼ同じ量です。この全てを「C-FUEL」にリサイクルし、軽油の代わりに使用すれば、年間でCO₂を約23,220トンの削減※できます。※軽油1ℓの燃焼時に排出されるCO₂は2.58kgですが、バイオディーゼル燃料（植物系燃料）は、理論上、CO₂排出量はゼロとされ、地球上のCO₂を増加させません。

海外で高い評価を受ける

「京都産燃料」

世界一過酷な自動車レース「ダカール・ラリー2007」では、「C-FUEL」使用の日本車が、バイオディーゼル燃料を100%使用した車両として大会史上初めて完走しました。「C-FUEL」は、環境先進地域のEUではISCC認証（バイオ燃料の持続可能性を証明する認証）を受け、欧州市場にも輸出。また、アジア地域では、ベトナム国営鉄道のディーゼル機関車の燃料として試験走行を実施するなど、今後も地球温暖化対策に寄与してまいります。



エコ・トピックス

天ぷら油はとても身近な資源ですが、そのリサイクルは社会的にまだまだ浸透しておらず、家庭からの天ぷら油の回収率は10%程度とされています。普及啓発のため、当社では、「C-FUEL」で走るゴーカートを使った小学校での環境授業や地域でのエコイベントへの出展、また、京都サンガFCのホームゲームではサポーターから天ぷら油を集めるなど、様々な活動を行っています。

株式会社 レボインターナショナル

所在地 / 〒612-8473

京都市伏見区下鳥羽広長町173

TEL / 075-604-0518

FAX / 075-604-0519

URL / www.e-revo.jp

E-mail / nanohana@e-revo.jp